

館外イベント 2015 年度

平和祈念展示資料館

2015年度

2015年12月10日 平和祈念展 in 徳島
 日時：平成28年1月26日(火)～1月31日(日) 9:30～17:00
 会場：徳島県文化の森総合公園
 徳島県立近代美術館 ギャラリー・徳島県立21世紀館 多目的活動室



2015年9月5日 平和祈念展 in 長野
 日時：平成27年10月17日(土)～10月27日(火) 9:30～17:30
 会場：ホクト文化ホール 2階 小ホール



2015年7月30日 平和祈念展 in 群馬
 日時：平成27年9月8日(火)～9月13日(日) 午前10時～午後5時（最終日は午後4時まで）
 会場：群馬県庁舎 1階 県民ホール北側フロア



2015年7月10日 夏休み3館めぐりスタンプラリー
 期間：平成27年7月18日(土)～8月30日(日)
 場所：昭和館・しょうけい館・平和祈念展示資料館



2015年7月7日 「子ども霞が関見学デー」に出展
 日時：平成27年7月29日(水)・30日(木) 午前10時～午後4時
 会場：中央合同庁舎2号館 講堂(地下2階)
 受付：中央合同庁舎2号館 ロビー(1階)



2015年5月15日 特別展示「シベリア抑留を描く Vol.3 心に刻まれた姿」
 日時：平成27年7月14日(火)～7月20日(月・祝) 午前10時～午後7時
 会場：九段生涯学習館 2階 九段ギャラリー



2015年5月3日

戦後70年特別交流展 知覧特攻平和会館・平和祈念
展示資料館合同展示

「義烈空挺隊と従軍カメラマン・小柳次一」

日時：平成27年6月4日(木)～7月28日(火) 午前9
時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

会場：ミュージアム知覧 特別展示室



戦後70年特別交流展 知覧特攻平和会館・平和祈念展示資料館合同展示 「義烈空挺隊と従軍カメラマン・小柳次一」

ミュージアム知覧(南九州市)にて、知覧特攻平和会館と平和祈念展示資料館が所蔵する義烈空挺隊員の遺書や手紙、従軍カメラマン・小柳次一氏が撮影した同隊の写真などを「戦後70年特別交流展」として合同で展示します。

あわせて、抑留体験者が収容所生活を描いた絵画や、当時子どもだった漫画家たちが自身の引揚げ体験を描いた作品など、平和祈念展示資料館が所蔵する資料を紹介します。



日 時 平成27年6月4日(木)～7月28日(火)
午前9時～午後5時 (入館は午後4時30分まで)
※7月1日～7月4日は休館

会 場 ミュージアム知覧 特別展示室
鹿児島県南九州市知覧町郡17880

入館料 知覧特攻平和会館・ミュージアム知覧の共通券
【大人600円・小人400円】
ミュージアム知覧の単独券
【大人300円・小人200円】

連絡先 知覧特攻平和会館 TEL:0993-83-2525

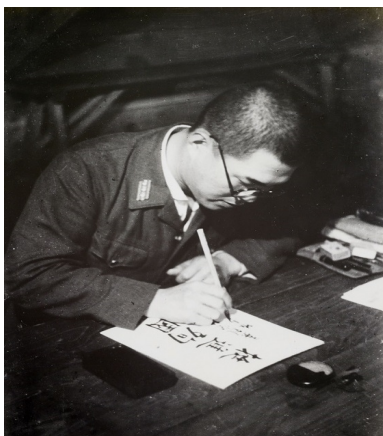
知覧特攻平和会館の情報は[こちら](#)

義烈空挺隊

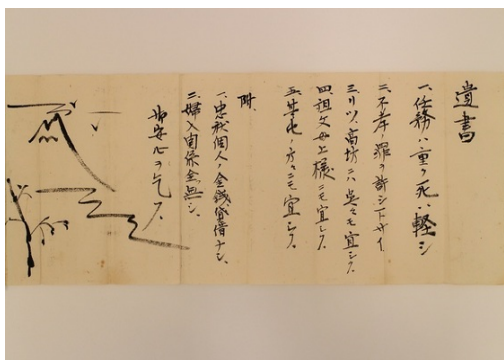
昭和20(1945)年5月24日、沖縄北・中飛行場に強行着陸し、米軍の航空機及び軍事施設を破壊して基地を制圧する特別攻撃を実施した部隊です。

小柳次一 (こやなぎつぐいち)

昭和13(1938)年から約8年間、従軍カメラマンとして、中国各地やフィリピン、国内の陸軍飛行場などで写真撮影を行いました。昭和20年(1945)年5月、小柳氏は熊本県の陸軍飛行場から沖縄へ出撃した義烈空挺隊の密着取材を行っています。



※画像は《遺書をしたための義烈空挺隊長》
小柳次一撮影 平和祈念展示資料館所蔵



※画像は『義烈空挺隊員の遺書』知覧特攻平和会館所蔵

特別展示「シベリア抑留を描く Vol.3 心に刻まれた姿」

平和祈念展示資料館では、昨年度に引き続き、「シベリア抑留を描く Vol.3」として、抑留体験者が描いた作品を紹介する絵画展を開催します。

今回は、早田貫一氏、竹田一夫氏、佐藤清氏の3人の画家の作品から、心に刻まれた人々の姿を題材に描いた作品を選んで展示します。

日 時 平成27年7月14日（火）～7月20日（月・祝）
午前10時～午後7時

会 場 九段生涯学習館 2階 九段ギャラリー
東京都千代田区九段南1-5-10

入場料 無料

協 力 昭和館／しょうけい館



■ ■ ギャラリートーク ■ ■

学芸員が、展示の見どころや作品にまつわるエピソードを紹介します。

日時：7月18日（土）午後2時～（約30分）

■ ■ 昭和館・しょうけい館との連携企画 ■ ■

今回の特別展示に合わせて、同じ九段下エリアにある昭和館・しょうけい館で関連した企画を行います。

昭和館ではシベリア抑留体験者の帰国に関するニュース映画の上映などのほか、体験者の手記や画文集などを公開します。しょうけい館では抑留中の労働で受けた怪我や発症した病気などの労苦に関する証言映像の上映のほか、体験者の関連図書を紹介します。

昭和館の情報は[こちら](#)

しょうけい館の情報は[こちら](#)

【早田貫一(はやたかんいち)氏プロフィール】

大正10(1921)年、佐賀県に生まれる。

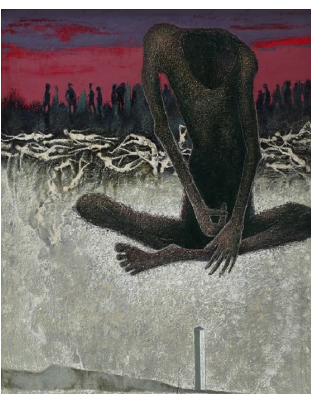
昭和18(1943)年、学徒出陣。

昭和20(1945)年、シベリアに抑留され、昭和23(1948)年に復員。

帰国後、英語教師として、秋田県で勤務。在職中より絵を描きはじめる。

平成23(2011)年没。享年90歳。

※画像は《忘れられない言葉》早田貫一



【竹田一夫(たけだかずお)氏プロフィール】

大正12(1923)年、大阪府に生まれる。

昭和19(1944)年、満州(現・中国東北部)のハルビン陸軍兵技学校に入る。

昭和20(1945)年、シベリアに抑留され、昭和24(1949)年に復員。

昭和25(1950)年、絵画の制作を開始し、数々の公募展に作品を出品する。

平成10(1998)年没。享年74歳。

※画像は《或る記憶》竹田一夫

【佐藤清(さとうきよし)氏プロフィール】

大正14(1925)年、福島県に生まれる。

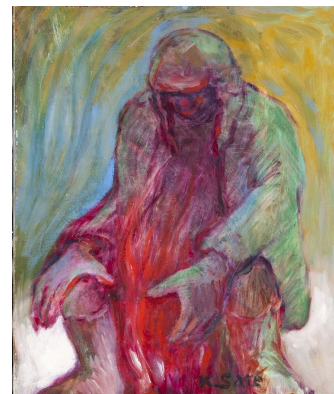
昭和19(1944)年、徴兵により、満州(現・中国東北部)へ出征。

昭和20(1945)年、シベリアに抑留 され、

昭和22(1947)年に復員。昭和30(1955)年、武蔵野美術学校にて西洋絵画を学ぶ。

平成26(2014)年没。享年88歳。

※画像は《埋葬前のたき火》佐藤 清



「子ども霞が関見学デー」に出展

総務省委託の平和祈念展示資料館は、26府省庁等が参加する「子ども霞が関見学デー」に出展し、当資料館の紹介展示を行います。

- 日 時** 平成27年7月29日(水)・30日(金)
午前10時～午後4時
- 会 場** 中央合同庁舎2号館 講堂(地下2階)
東京都千代田区霞が関2-1-2
- 入場料** 無料
- 主 催** 文部科学省



■■紹介展示■■

「平和祈念展示資料館ってどんなところだろう？」

当資料館の紹介展示のほか、戦後強制抑留者の食糧について理解を深める体験コーナーもあります。

「子ども霞が関見学デー」の情報は[こちら](#)

夏休み3館めぐりスタンプラリー

戦中・戦後の労苦を伝える

夏休みにあわせ「夏休み3館めぐりスタンプラリー」を実施します。

戦中・戦後の労苦を伝える「昭和館」「しょうけい館」「平和祈念展示資料館」の3つの館をめぐって、オリジナルグッズを手に入れましょう。

期 間：平成27年7月18日（土）～8月30日（日）

場 所：昭和館・しょうけい館・平和祈念展示資料館

参加方法：いずれかの館でスタンプラリーの台紙を受け取り、3つの館のスタンプを集めて、最後の館でオリジナルグッズと交換してください。

昭和館の情報は[こちら](#)

しょうけい館の情報は[こちら](#)



平和祈念展 in 群馬

次の世代へ伝えたい記憶

平和祈念展示資料館では、さきの大戦における、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の方々の労苦を物語る実物資料などを通して、苦しくつらい体験があったことを次の世代へ伝えるため、全国で展示会を開催しています。

平成27年9月は、群馬県前橋市で開催します。



日 時 平成27年9月8日(火)～9月13日(日)
午前9時30分～午後5時 (最終日は午後4時まで)

会 場 群馬県庁舎 1階 県民ホール北側フロア
群馬県前橋市大手町1-1-1

入場料 無料

後 援 群馬県、群馬県教育委員会、前橋市、前橋市教育委員会

出展数 約220点

「平和祈念展in群馬」では、当資料館が所蔵する代表的な実物資料のほか、群馬県出身の漫画家・斎藤邦雄氏が描いた作品や群馬県にゆかりのある資料を特別に展示します。

主な展示内容

- 「兵士」：兵役に関する公文書、装備品など
- 「戦後強制抑留者」：抑留生活中の作業衣、生活用品など
- 「海外からの引揚者」：引揚げ時の混乱を示すメモ、書類など

<特別展示>

『漫画家・斎藤邦雄が描いた作品と群馬県ゆかりの資料』

群馬県藤岡市出身の斎藤邦雄氏は、徴兵により高崎連隊に入営し、その後満州(現・中国東北部)で終戦を迎えました。ソ連軍による武装解除の後、シベリア収容所で約3年間に及ぶ抑留生活を送り、昭和23(1948)年に帰国を果たしました。入営から帰国までの自身の体験について、斎藤氏が描いた漫画を群馬県ゆかりの資料とともに紹介します。



臨時召集令状（いわゆる赤紙）



両袖をパンと交換した袖なしの防寒外套



亡くなった赤ん坊のおむつで作った
子ども用ワンピース



<特別展示>

《望郷》 斎藤邦雄 画（左）

抑留者が持ち帰った飯ごう（右）



平和祈念展 in 長野

次の世代へ伝えたい記憶

平和祈念展示資料館では、さきの大戦における、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の方々の労苦を物語る実物資料などを通して、苦しくつらい体験があったことを次の世代へ伝えるため、全国で展示会を開催しています。

平成27年10月は、長野県長野市で開催します。



日 時 平成27年10月17日(土) ~ 10月27日(火)

9 : 30 ~ 17 : 30

休館日 : 10月26日(月)

会 場 ホクト文化ホール 2階 小ホール

長野県長野市若里1-1-3

入場料 無料

後 援 長野県、長野県教育委員会、長野市、長野市教育委員会

出展数 約190点

「平和祈念展in長野」では、当資料館が所蔵する代表的な実物資料のほか、満蒙開拓青少年義勇軍に関する写真資料を特別に展示します。

主な展示内容

「兵士」：兵役に関する公文書、装備品など

「戦後強制抑留者」：抑留生活中の作業衣、生活用品など

「海外からの引揚者」：引揚げ時の混乱を示すメモ、書類など

<特別展示>

『満州に渡った少年たち—満蒙開拓青少年義勇軍—』

長野県は、全国で最も多くの満蒙開拓団を送り出しました。その中には、満蒙開拓青少年義勇軍に入った、満15～18歳の少年たちも含まれていました。満蒙開拓青少年義勇軍の少年たちは、茨城県の内原訓練所で農業実習と軍事訓練を受け、満州(現・中国東北部)に渡りました。この特別展示では、当資料館が所蔵する満蒙開拓青少年義勇軍に関する写真を紹介します。

<映像上映>

ビデオコーナーにて満蒙開拓平和記念館(長野県下伊那郡)が製作した、満州に渡った開拓団の方々による証言映像を上映します。

●同時開催●

昭和館 巡回特別企画展「もっと知りたい! 戦中・戦後の暮らし」

昭和館が所蔵する実物資料を中心に、戦中・戦後の国民生活上の労苦に係わる歴史的資料を展示します。

主 催 : 昭和館(厚生労働省委託)

会 期 : 平成27年10月17日(土)~10月27日(火)

会 場 : ホクト文化ホール 1階 ギャラリー

昭和館の情報は[こちら](#)

しょうけい館—戦傷病者史料館— 長野展 義肢に血が通うまで

義肢の歴史と義肢と共に第二の人生を歩まれた戦傷病者の労苦に係わる実物資料などを展示します。

主 催：しょうけい館(厚生労働省委託)

会 期：平成27年10月17日(土)～10月23日(金)

会 場：ホクト文化ホール 3階 第2会議室

しょうけい館の情報は[こちら](#)



臨時召集令状（いわゆる赤紙）



両袖をパンと交換した袖なしの防寒外套



亡くなった赤ん坊のおむつで作った
子ども用ワンピース



<特別展示> 『渡満壮行式』

平和祈念展 in 徳島

次の世代へ伝えたい記憶

平和祈念展示資料館では、さきの大戦における、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の方々の労苦を物語る実物資料などを通して、苦しくつらい体験があったことを次の世代へ伝えるため、全国で展示会を開催しています。

平成28年1月は、徳島県徳島市で開催します。

日 時 平成28年1月26日(火)～1月31日(日)
9:30～17:00

会 場 徳島県文化の森総合公園
徳島県立近代美術館 ギャラリー
徳島県立21世紀館 多目的活動室
(徳島県徳島市八万町向寺山)

入場料 無料

後 援 徳島県、徳島県教育委員会、徳島市、徳島市教育委員会

出展数 198点



「平和祈念展in徳島」では、当資料館が所蔵する代表的な実物資料のほか、シベリア抑留体験者が自身の体験をもとに描いた絵画作品を特別に展示します。

主な展示内容

「兵士」：兵役に関する公文書、装備品など

「戦後強制抑留者」：抑留生活中の作業衣、生活用品など

「海外からの引揚者」：引揚げ時の混乱を示すメモ、書類など

<特別展示>

『画家・田中武一郎が描いたシベリア抑留』

田中武一郎は明治41(1908)年、広島市に生まれました。昭和19(1944)年に召集され、満州(現・中国東北部)へ。終戦後、シベリアで抑留生活を送り、昭和22年(1947)年に復員しました。昭和48年(1973)年に亡くなるまで、ライフワークとしてシベリア抑留の絵画を描き続けました。



臨時召集令状（いわゆる赤紙）



両袖をパンと交換した袖なしの防寒外套



亡くなった赤ん坊のおむつで作った
子ども用ワンピース



＜特別展示＞
田中武一郎《伐採》